

第5回レベルアップ講習会(介護)報告



12月12日(木)、第5回レベルアップ講習会(介護)を開催しました。
今回は「車椅子・杖の介助法」について、松山赤十字病院健康生活支援講習指導員の富永 福美先生を講師にお迎えして行い、22名の提供会員さんが参加しました。
車椅子の仕組みと点検ポイントの説明を受けた後、二人一組になり実際に介助する側とされる側に分かれての実習をしました。



とみなが 福美先生
富永 福美先生

車椅子を使う前に、まず点検を行いましょ。スピードが速いと気分が悪くなることもあるので気をつけましょ。笑顔で、声掛けを行いコミュニケーションをとりましょ。日常生活にはいろいろなことがあります、いかに楽しく過ごすかが大きなテーマだと思います。そのためには、ケガをしないことですね。

しかし、一番大切なことは健康維持。予防にも努めましょ。

車椅子の開閉、タイヤの点検など一通り学んだ後、乗車体験。スピードの強弱を体感してもらい、段差の乗り越え方や椅子から車椅子への誘導の仕方を学びました。特に、段差体験は車椅子が前後に傾くことから乗っている人が不安にならないように「声掛け」を行うことの大切さも教わりました。

杖の介助では、杖の正しい選び方や歩行の際の立ち位置を学びました。

講習の様子

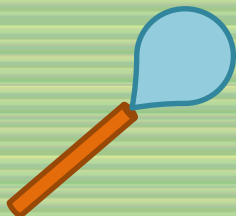
2人1組で
乗車体験

車椅子の
点検

車椅子での
段差体験

杖の
介助法

杖の使用法



参加者の感想

- 車椅子の点検の仕方がわかって良かったです。押す時のスピードも大切に、速すぎても気分が悪くなったりすることがあるので、声をかけながら臨機応変に対応する大切さを学びました。
- 車椅子に乗ることは、他人の運転で自動車に乗るのとは違う「不安」を感じました。体調が悪い時だと、もっと強く感じることでしょう。少しでも不安感を少なくするためにも「声掛け」が大切だと知りました。
- 車椅子で段差をこえる時は、前かがみになるので怖かったです。介助する際も手に力が入ってしまいました。声掛けの大切さを実感しました。
- 参加者の皆さんが真剣に取り組んでいるのがわかりました。日常生活の中でも不自由な人がいたら声掛けできるようになりたいです。
- 実際に車椅子に乗ることで、どのように動かしてもらおうと安心できるのかを知ることができて良かったです。車椅子や杖を使うことで困難さを知ることができました。

※たくさんのご意見ありがとうございました。今後の援助活動に活かしてほしいと思います。

次回のレベルアップ講習会は、松山赤十字病院 副院長 小谷 信行先生をお迎えし、1月31日(金)コムズ4階視聴覚室にて「子どもの行動の背景をとらえる」をテーマに行います。

「子どもがなぜこういう行動をするのか。」Dr.コダニの楽しく、優しく分かりやすいお話を聞いてみませんか？

お申込みお問い合わせは当センター窓口、または電話・FAXにて受付けております。

TEL : (089) 945-1008 FAX: (089) 943-0460

